



鳥越だよりのカラー版はHPで見ることができます

白山市立鳥越中学校

校長 久司由利子

No15 2021, 9, 10



令和3年度前期生徒会目標

Peace & Smile



運動会練習始まりました

1週目は全市が午前中までの授業となったため、結団式が予定より遅れて9月6日に行われました。さあ、3年生のリーダーシップの見せどころですよ。練習期間はあと1週間ですが、今年は保護者の方にも感染対策をしっかりしていただき観戦していただく予定です。赤団、白団、それぞれのチームで団結して戦うことはもちろんですが、鳥越中全生徒も一つのチームとして、良い運動会を創りあげましょう！

身体の距離は取りつつ、『こころは密』に！！



実行委員

中西 陽樹
山本 結花
澤崎 雪乃
山本 悠温



赤 団

団 長 堀 大翔
副団長 北山陽奈子
ダンスリーダー
池田 真唯
竹田 匠吾



白 団

団 長 北川 凱壘
副団長 西口 絢音
ダンスリーダー
清水 那菜
林 芳樹



TOKYOパラリンピック 印象に残ったこと



オリンピック、パラリンピックが終わり、みなさんはどんな競技、どんなアスリートに注目したでしょうか。私は少々オリ・パラロスを感じています。特にパラリンピックでは、どのパラアスリートも何らかの障害を抱え、日常の生活も大変だろうに、さらに過酷な努力を重ね、競技に挑んでいる姿を見て、何度も何度も感動をもらいました。



NHK オリンピックサイトより

なかでも皆さんと同じ中学生の山田美幸さんという14歳のパラアスリートに、いろいろな驚きと感動をもらいました。山田さんを知っていますか？

彼女は水泳、運動機能障害のクラスの背泳ぎの選手で、見事2個の銀メダルを獲得しました。彼女は生まれつき両腕がなく、足も左右の長さが違います。でもうまく肩を使い、力強いキックですいすい泳いでいました。それだけでもすごいなあと思うのに、彼女の行動や言動がまたすばらしいのです。以下、先週金曜日（3日）、NHKでのインタビューから引用し（★）、中学3年生としてすばらしすぎる、と私が思ったことを紹介します。

①自分の泳ぎを分析し、改善点を意識して次のレースに臨んでいること。

★2日の50m決勝。スタートにこめた気持ちは？

「この1週間で体を作っても、タイムが速くならないと思いました。改良できるのはスタートだけなので、本当にそこに集中して頑張って、結果が出たのでうれしいです」

②言葉の使い方が中学生とは思えない、知性と品性を持っているところ。たぶん、学校での勉強もしっかり取り組み、質の高い読書なども日頃からしているんだろうなと思いました。

★座右の銘は「無欲は怠惰の基である」ということばだそうです。理由は？

「やはり何事も真剣に取り組むと、“欲”が出てくると思うんです。もっと上を目指したいとか、メダルを取りたいとか。欲が出ることは悪いことではないと思い、自分の欲に素直に従って全力で取りくんでいきたいという思いを込めました」

③感謝の気持ちが、さりげない行動に表れていること。

「プールに『泳がせていただきます』とあいさつをしてから臨みます。」

それでも銀メダルは金ではないということで悔しかったそうです。次の欲（目標）は高校合格とパリパラリンピックでの金メダルだそうです。アナウンサーの「力がでないと思う時はないのか？」という質問に、「たくさんあります。毎日思っているくらいですが、自分の目標のために今日も頑張ろうと思って練習に励んでいます」と答えていました。「無欲は怠惰の基である」という言葉は、もうすぐ10,000円札になる渋沢栄一さんの言葉です。

「欲（目標）がないのは、なまけ心の基になりますよ。」私にも耳が痛い言葉です。みなさんは明確な目標を持っていますか？しっかり見つけると一日一日がさらに充実しますよ。